

FUPPARI TIMES

THE NEWSLETTER OF THE SEASON

恒例

吹張 犬っこまつり



「吹張犬っこまつり」昨年は暖冬で出来なかったものの、今年は町内の皆様方のご協力でもた開催することができました。PTAによる「犬っこ」「お堂っこ」が作られなくなった後、町内全域で各家々での昔ながらの「吹張犬っこまつり」を開催してから今年で8年目となりました。

今年は湯沢市の「犬っこまつり」が中止になったこともあり、昔ながらの町内の「犬っこまつり」が魁新聞に取り上げられたことは、大変嬉しい出来事で、これからも継続していけますようご協力をお願い申し上げます。

五穀豊穰・家内安全



それぞれの願いをこめて



「吹張犬っこまつり」



ご協力ありがとうございました

令和3年愛宕神社初祭り

令和3年2月24日（水）愛宕神社初祭典 午前11時より

新型コロナウイルス感染鎮静化祈願祭も併せて社殿にて斎行されました。天気は大吹雪で風で雪が神殿の畳を白くする程、そんな天気の中での神事が行われ、無事終了する事ができました。いつもなら直会が行われるのですが、今年はコロナ過で中止となりました。一日も早く鎮静化をとの願いを込めて疫病退散の御札を頂いてまいりました、町内の皆様にお配り致しますので、新しい御札を玄関前に貼って頂きますようお願い申し上げます。



湯沢

湯沢市の犬つこまつりは米粉で作った小さな犬を家々の入り口や窓に供え、魔よけを願う地域の風習が起源。同市内町の横川明男さん（仮宅）は一家で庭の雪壁に穴を掘り、米粉でできた犬のしん粉細工や供え物をした。夜にはろうそくに火をともし、家内安全を祈った。

■犬つこまつり関連記事21面

「昔は市内の至る所で民家の前の雪壁に穴が掘られ、ろうそくがともる光景があった」と話す。

家々に「犬つこ」 コロナ退散願う

い」との言い伝えがある。実アメツコ市だが、伝統ある地行委の小松彰委員長（仮）は「城の整った雰囲気を感じて」「制約があり例年とは異なる」と話している。

14日は午前8時〜午後3時半。
（菊池正利 佐々木直人）

市内中心部の事業所前には「犬つこ」や「お堂つこ」の雪像が見られた。建設会社の和賀組前には、犬つこ体とお堂つこ体が見られた。まつのりの日に雪像がないのはさみしいと、12日に社員5人で制作した。

和賀組社長（仮）は「10時交代に佐竹南家の殿様が大雪を退治した際、住民が「再び悪魔が現れないように」と願い、小さな犬の形を供えさせたというまつのりの起源になった」と話した。

「新しいコロナという悪魔を追い払ってほしい」と話した。（藤田洋子）

雪像のろうそくに火をともす住民＝13日午後5時45分ごろ、湯沢市吹張

吹張地区の約40世帯でつくった雪像のろうそくに火をともす住民＝13日午後5時45分ごろ、湯沢市吹張

吹張ホームページ <http://www.yuzawa.site/fuppari>



■ フッパリタイムズはPDFファイルにてホームページにもアップロードしています

吹張町内皆様方のコミュニケーションのお役にたてればと、情報誌「Fuppari Times」（フッパリ タイムズ）は「春の号」2月、「夏の号」5月「秋の号」8月、「冬の号」11月と、春夏秋冬発行して行きます。今後も皆様より広く情報を頂き、紙面にたくさんの笑顔をお届け出来ればいいなと思っておりますので、どんな情報でも結構ですのでお気軽にお問い合わせください。

誌面はコミュニティ事業の補助金で作成しています 編集企画：奥山 忠平 携帯 09058303132